



株式会社  
ダイニチ



環

境

2015  
Environmental  
Report



報



告



書

# 目次

ごあいさつ P.2

会社概要 P.3

環境基本方針 P.4

2014年度活動状況 P.5~P.6

環境負荷低減対策 P.7~P.10

地球温暖化・省エネルギー対策

省資源・廃棄物の削減

- 水資源の有効活用
- 廃棄物の削減

化学物質排出削減

環境関連商品 P.11

---

## ごあいさつ

---

### ダイニックは、製品の開発から廃棄まで 常に環境保全を考えた企業活動を推進しています。

暮らしを「豊かに」そして「快適に」彩ることがダイニックのテーマです。

ダイニックの全従業員は、住みよい地球に向かうための環境基本方針を常に心掛け、技術と環境との調和を踏まえた、環境にやさしい企業活動に日々努めております。

私たちダイニックは、工場天井照明のLED化、排熱再利用による燃料削減、変圧器の高効率型への切り替え等の省エネルギー活動を推進することはもちろん、廃棄物のリユース・リサイクルにも努め、最終処分量削減を進めることで、環境負荷のより小さい製品を市場に提供することを積極的に推進しております。

今後も信頼される企業であり続けるために、次世代に向けて、全従業員が一丸となって環境対策への取り組みを強化し、地球環境保全の実現に貢献する企業活動を推進してまいります。

環境保全に対応した企業として、より一層成長するためにも、皆様からの忌憚のないご意見、ご指導をいただければ幸いです。



平成 27 年 8 月

ダイニック株式会社  
代表取締役社長

大石義夫

## 会社概要

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION	
創立	1919年8月18日	
資本金	57億9,565万円	
株式	東京証券取引所一部上場	
売上高	273億円(グループ含み410億円)	(2015年3月31日現在)
従業員	606名(グループ含み1,427名)	(2015年3月31日現在)
本社	京都本社: 〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26番地 電話 075-313-2111(代) FAX 075-313-2116	
	東京本社: 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル 電話 03-5402-1811(代) FAX 03-5402-3146	
営業所	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡、香港、シンガポール、米国、タイ、英国、中国(グループ含む)	
工場	滋賀、埼玉、王子、富士、真岡、シンガポール、米国、タイ、英国、中国(グループ含む)	
関連会社	国内6社、海外9社	
事業内容	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、パッケージ用化粧クロス、銀行通帳用クロス、フィルムコーティング製品、表示ラベル用素材、複合フィルム、プリンターリボン、名刺プリンタ、文具紙工品、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート、カーペット、壁装材、天井材、ブラインド、自動車内装用不織布・カーペット、フィルター、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、容器密封用アルミ箔・蓋材、各種紙管紙器、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤、接着芯地、ファンシー商品、商品等運送・保管他(グループ含む)	



# 環境基本方針

## 【ダイニックの環境基本方針】

ダイニック株式会社は、環境保全への取り組みを重要な経営課題と認識し、国内外の環境関連法規制を遵守するとともに、環境負荷のより小さい製品を市場に提供していくことが製造メーカーとしての責任と考えている。その考えを具体的に実行するため、開発、資材調達、製造、販売、流通、及び廃棄のそれぞれの段階で、以下の項目を徹底推進する。

- (1) 製品のライフサイクルを通じ、事業活動のすべての段階で環境負荷を低減する。
- (2) 省エネ、廃棄物の減少に積極的に取り組み、環境汚染の防止に努める。
- (3) 有害な化学物質による環境を損なうリスクを予防する。
- (4) 環境に関する事業活動についての情報を開示し、地域社会と協調しながら、環境保全活動を積極的に推進する。
- (5) 環境保全に対する教育を徹底し、環境への意識向上を図る。

ダイニック株式会社  
代表取締役社長 大石 義夫

### ■環境負荷低減の取り組み

製品の設計段階から、環境負荷の少ない素材、再利用しやすい素材を考慮することはもちろん、エネルギー負荷の少ない製造方法や、省資源、長寿命化を考慮した製品設計を行なっています。製造段階では、日々の製造現場において、省エネルギー、廃棄物削減に努め、環境負荷低減に取り組んでいます。販売段階では、当社製品をご利用いただくことで、お客様の環境負荷が低減できる環境対応製品を提案し、地球環境保全に貢献する取り組みを行なっています。

### ■地球温暖化対策・生物多様性保全の取り組み

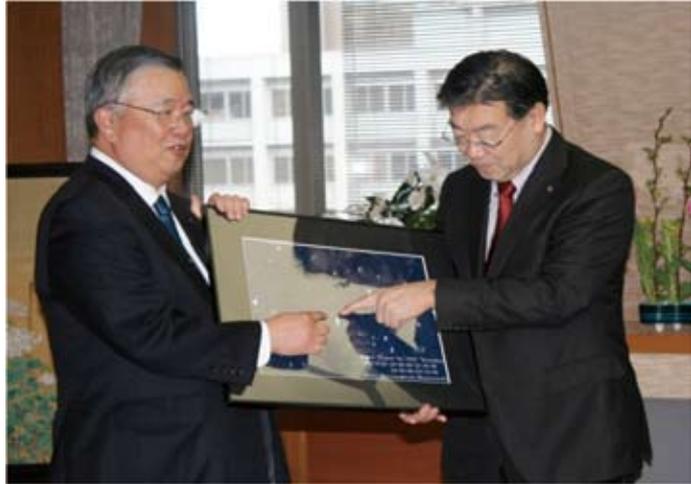
ダイニック全体で省エネルギー活動に取り組み、二酸化炭素の排出を削減することにより、地球温暖化対策を推進しています。また、生物多様性保全についても、地球温暖化対策等のリスクへの対応により、地球環境との共生を目指して取り組んでいます。



## 2014 年度活動状況

### ●地域貢献

滋賀工場内にある天文台「ダイニックアストロパーク天究館」で発見した小惑星2個に「富岡町」と「平安京」と命名し、登録されました。以前より、「他の惑星を知ることで地球環境保全に役立てる」という考え方から、地域の名前を命名し、地域貢献を果たしてきました。今回は、当社発祥の地である京都府に貢献することとし、京都府庁にて「平安京」の命名の報告がなされました。



### ●遮熱施行

滋賀工場の事務所、技術棟の天井裏に特殊遮熱シートを施行しました。熱を遮ることで、室内の熱を逃がさず、屋外の熱も室内に取り込まないため、冷暖房の使用負荷を減少させられることから、大幅なエネルギー削減や、CO2 削減に貢献しています。



## 2014 年度活動状況

### ●排熱回収装置

埼玉工場の新設マシーンは、排熱回収装置を設置し、省エネ、CO2 削減を図っています。乾燥機上部に排熱を循環できるダクトを設置し、再利用することで、燃料使用量の大幅削減を実現しています。



### ●高効率型変圧器

真岡工場の1200KVA 変圧器を高効率型に更新いたしました。負荷率が低い状態で使用していた為、負荷に見合った適正容量の750KVA にさげています。変圧器の高効率型化と容量見直しにより電力損失、CO2 排出量を大幅に削減し、運転騒音も低くなっています。



高効率型に  
更新



### ●LED 照明

真岡工場の天井照明を蛍光灯から LED 照明に順次更新しています。蛍光灯に比べ消費電力を55%削減する事ができています。また、LED 照明は虫を寄せ付けにくい為、品質向上にも貢献しています。



# ● 2014年度 環境負荷低減対策 ●



## 地球温暖化・省エネルギー対策

生産活動ではエネルギーを消費し、製品を造りだしています。これに伴い、地球温暖化ガスであるCO<sub>2</sub>を排出します。CO<sub>2</sub>の削減を目的に、生産工程でのエネルギー使用量の削減に取り組み、2009年度比で毎年1%削減を目標に掲げ、活動を展開しています。各種省エネ設備の投資として、工場天井照明（水銀灯）のLED化、変圧器の高効率型への変更、空調機の高効率型への変更、コンプレッサーを集中型への変更、事務所照明をLEDに変更等を実施してきました。

2014年度の実績につきましては、エネルギー原単位は悪化し目標を達成できませんでしたが、CO<sub>2</sub>発生量は、生産減少により発生量が減少し目標以下で抑える事ができました。2015年度は、生産減に対応したエネルギー効率改善策を実施し、目標達成に向けて取り組んでゆきます。



## 省資源・廃棄物の削減

### ●水資源の有効活用

ダイニック全体で、水資源の有効活用にも取り組んでいます。生産工程では、使用する洗浄水や、冷却水などのリサイクルを推進することで、総水資源投入量、総排水量の減少に取り組んできました。2014年度は2006年度比で総水資源投入量は17%程度、総排水量は16%程度削減することができています。

総水資源投入量 (千トン)



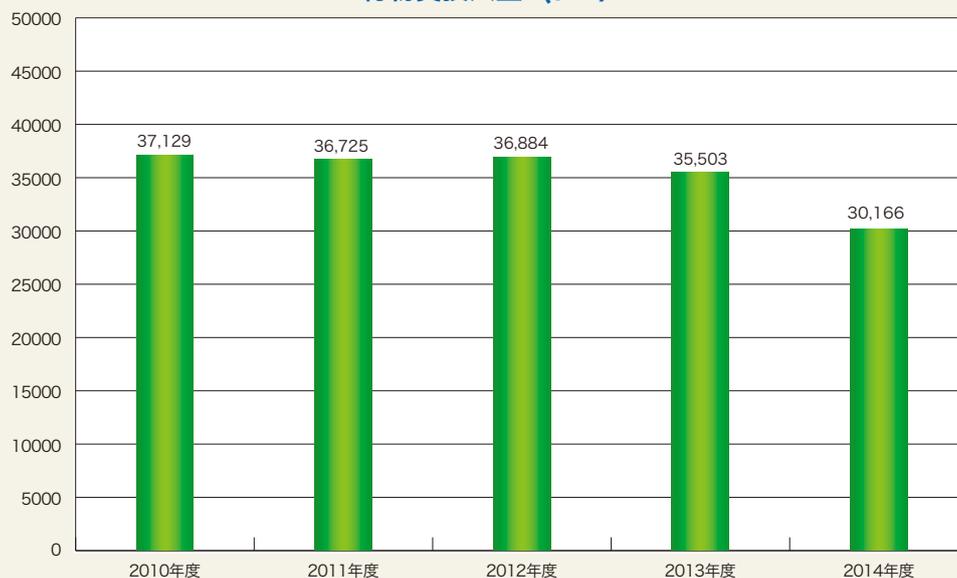
総排水量 (千トン)



## ● 廃棄物の削減

地球環境保護のため、廃棄物の削減に取り組んでいます。取り組みは、廃棄物の総量を減少させるだけでなく、資源の有効利用の観点からも、リユース、リサイクルを進めてきました。総物質投入量も2010年度37,129トンに対し、2014年度30,166トンと18.8%削減できています。総廃棄物量は2009年度以降多少増加傾向にありますが、廃棄物最終処分量は、リユース、リサイクルの推進成果で年々減少してきており、2014年度は2006年度比で56%減少させることができています。

総物質投入量 (トン)



廃棄物量 (トン)



## 化学物質排出削減

化管法に基づくPRTTR制度に従い使用中の化学物質の環境への排出量の届け出を行うとともに、削減に努めてきています。

2014年度の総排出量は2013年度実績とほぼ同じ排出量でしたが、総移動量は4.8%削減しています。2015年度は燃焼方式のVOC処理装置を導入しました。それにより総排出量の削減が見込めます。

総排出量 (トン)



総移動量 (トン)



## 環境関連商品

ダイニック株式会社は社会の発展や、より豊かな暮らしの創造に貢献するさまざまな商品の開発に、鋭意取り組んでいます。そしてそのような新商品を社会に提供することが、事業を通じた社会への貢献につながるものと考えています。

当社では、「人の健康と地球環境へ配慮した商品」を環境関連商品と定義しています。

### 【環境負荷の少ない原材料を使用した商品】

＊ 脱塩ビ各種商品

紙刃、非塩ビファイル、オレフィン系クロス、紙製振り込みカード、EVAコンテナ等

＊ 再生紙、再生繊維、再生樹脂を使用した各種商品

FSC認証紙クロス、トナーカートリッジ再生、リサイクルカーペット、エコマーク接着芯地等

### 【使うことで環境負荷を低減できる商品】

＊ 抗菌・消臭・防音機能を付与した各種商品

抗菌装丁用クロス、抗菌包装材、不織布消臭シート、不織布床防音材、消臭・抗菌壁紙等

＊ 健康・食品の鮮度保持に役立つ商品

耐水食品包材、食品鮮度保持剤、空気清浄機用フィルター材、パップ材の離型フィルム等

### 【部品として組み込まれて、環境負荷低減に貢献している商品】

＊ 電子部品として組み込まれ、省エネに貢献している商品

有機EL用乾燥材

＊ 製造工程短縮に役立つ部材

車両座席固定用面状ファスナー材

環境関連商品売上占有率 (%)



これら環境関連商品の個別の内容説明は、当社ホームページに掲載していますのでご覧ください。当社は「環境関連商品で社会に貢献する」をキーワードに積極的に商品の開発を行ってきました。その成果として、環境関連商品の当社売上に占める比率は、2010年度以降年々伸ばすことができます。2014年度につきましても、2013年度に比べ5.8%伸ばすことができました。

さらに、環境関連商品売上占有率を上げてゆくことで、社会に貢献してゆきたいと考えており、皆様からの当社環境関連商品についてのご意見、ご要望をお聞かせいただければ幸いです。



『環境報告書2015』

発行：ダイニック株式会社 環境推進室

発行日：2015年8月11日